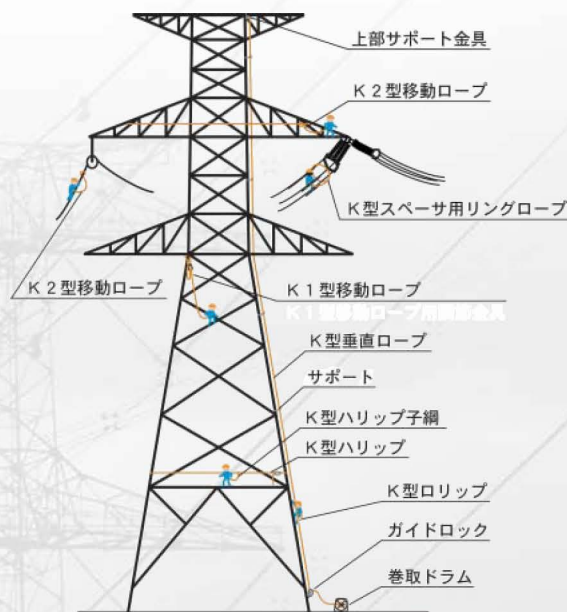


キーロック方式安全ロープ

昇降・水平移動用

キーロック方式安全ロープとは、安全帯に装着したキーロック本体に対し、あらかじめ作業場所に配置した各種安全ロープのロックレバーを次々と連結し、移動および作業を行う方式で、地上で安全ロープを安全帯に取り付ければ、移動・作業の間に心理的ミスによる誤操作が起きても、常に1本以上の安全ロープで作業者を保持できる墜落災害防止用具です。

- 鉄塔上で安全帯ランヤードの掛け替え操作を誤っても、無胴網状態にならない構造です。
- プレートエッジに接触しながら墜落してもロープが切断しないようK1型移動ロープにショックアブソーバが付いています。
- フックに代わるロックレバーをキーロック本体に差し込む操作は、フックを環に掛けるより簡単です。



キーロック方式安全ロープの構成要素

キーロック本体



名称	型式	名称	型式
キーロック本体	KA-1A	マスターキー・ロリップキー	MR-1
K型垂直ロープ	RK-()	タブレット	TB-2
K型ロリップ	78RK-()	台付ロープ	TH-()
K型ハリップ	54H-()	サポート	WSK-21
K型ハリップ子綱	54HK-()	上部サポート金具	UWSK-40
K1型移動ロープ	T-()K	巻取ドラム	RD-()
K2型移動ロープ	TK-25R	ガイドロック	GL-16
K型スペーサ用リングロープ	TK-36R	K1型移動ロープ用調節金具	TA-12K

K型ロリップ

K型垂直ロープに取り付けて安全帯と連結し、鉄塔の昇降時に用いる安全器です。



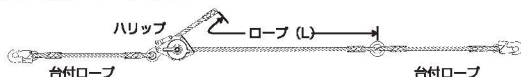
K型ハリップ子綱

K型ハリップにあらかじめ取り付け、安全帯のキーロック本体と連結して、K型ハリップより下方の鉄塔部材の水平移動に用いる安全ロープです。そのまま作業を行う場合は安全帯ランヤードを併用します。



K型ハリップ

鉄塔部材間などにあらかじめ取り付け、主に水平材上の移動に用いる安全ロープです。



K型スペーサ用リングロープ

主にスペーサの取り付けおよび点検のために、電線上を移動する場合に用いる安全ロープです。



K1型移動ロープ

鉄塔部材間などにあらかじめ取り付け、安全帯のキーロック本体と連結し、K型ロリップおよびK型ハリップ子綱で移動できない個所で、ゲージに示す移動範囲内での移動に用いる安全ロープです。



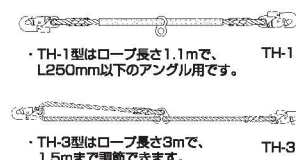
K2型移動ロープ

K型垂直ロープ・K型ハリップ・K1型移動ロープおよびK型スペーサ用リングロープで移動できない個所で、特にカテナリー角度の大きな電線やワイヤへの宙乗作業に適しています。そのまま作業を行う場合は、必ず安全帯ランヤードを併用します。



台付ロープ

K型ハリップおよびK1型移動ロープに付属している台付ロープ(長さ0.5m)では短い場合に用います。



一般高所作業用安全帯

柱上作業用安全帯

傾斜面用安全帯

林業用安全帯

消防用安全帯

墜落防止装置 仮設用

墜落防止装置 常設用